



岬プロ第19号

平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

大阪府泉南郡岬町長 石田 正弘



### 中期計画に関する意見書

岬町は大阪府の最南端に位置し、町域は東西10km、南北6km、面積49.03km<sup>2</sup>で、北西部は大阪湾を望んでおり、美しい海岸線と海水浴場を有し、和歌山県に接する和泉山脈によって豊かな緑に囲まれています。

大阪市の都心部まで概ね50km、和歌山市の中心部までは概ね10km、日本全国や世界の窓口である関西国際空港までは約20kmという人・物・情報の拠点に近接しながら、豊かな自然を享受できる暮らしが可能な高い地理的ポテンシャルを持っています。

また、海岸部ではみさき公園、山間部では関西国際空港二期事業に関連した土砂採取跡地を利用して、128haに及ぶ岬町多奈川地区多目的公園を建設すべく今年度より工事着手しており、新たなにぎわい拠点として期待を寄せています。

現在、本町内の主要道路は、東西軸として海岸沿いに国道26号、主要地方道岬加太港線があり、南北軸として、それに接続する道路は府道木ノ本岬線、町道西畑線のみとなっており、通過、観光及び生活交通が混在し、特に国道26号線の慢性的な交通渋滞による日常、経済及び緊急活動に支障をきたしている状況で、本町の地理的ポテンシャルを有効に活用できない状況となっています。

このような状況の中、本町では、健全な都市環境の整備や魅力的な拠点形成を推し進めており、

- ① 慢性的な渋滞の解消と通過交通を排除し、大阪・和歌山市方面を結ぶ自動車専用道路的な道路を整備することによる南北連携都市軸の強化。
- ② みさき公園や海水浴場等、海岸沿いにある主要観光施設へのアクセス向上を図るための海洋レクリエーション軸の整備。
- ③ 岬町多奈川地区多目的公園や和歌山市加太方面との連携を図る東西連携軸の整備。
- ④ これら南北軸・東西・海洋レクリエーション軸を合わせた町域全体の格子状ネットワークの形成。

という道路軸を基本とした機能や魅力の集積及びネットワーク化をめざすべき「まちの将来構造」と位置付けています。

本町におきましても、生活環境の改善のための道路整備に対する住民のニーズは一層高まっており、ポテンシャルを最大限発揮するための道路整備は、ますます必要となっています。本町の現状を鑑み、鋭意進められております都市軸の整備に加え、それを補完する都市間道路といった東西連携軸の整備に係る国の主体的な役割についても中期計画に盛り込まれるよう意見を添えさせていただきます。